

一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 中山 直之 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 川崎市の事例を踏まえたプレーパークの導入提案について	神奈川県川崎市にある「川崎市子ども夢パーク」では、プレーパークを通じて子どもたちに自由な遊びと学びの場を提供し、地域の多世代交流や不登校支援、地域活性化に貢献しています。これらの取り組みが、様々な地域課題の解決への新しい手段として期待され全国から注目されています。 熊本市においても、民間のプレーパーク実施への支援が行われています。 以上を踏まえ、次の内容について町長の考えを問う。 （１）大津町におけるプレーパーク導入の可能性について 川崎市の事例を踏まえ、大津町でも子どもたちが自由に遊びながら学べるプレーパークを試験的に設けることは可能か。また、試験的な導入を考えたときに町としての取り組みはどのように進められると考えるか。 （２）不登校支援や多様な学びの場としての活用について 川崎市が行っているように、プレーパークを不登校支援や多様な学びの場の一環として活用することは大津町でも考えられないか。その場合、町として支援できる具体的な方法はどのようなものがあるか、見解を伺う。 （３）地域資源の活用と地域団体の協力について 大津町でも、熊本市が行っているように地域団体が子どもたちが自由に遊べる場を提供するための支援を行うことはできるのか。また、そのために町としてどのような支援や協力体制を整備することが可能か。 （４）地域空間の活用について 地域の空き地や広場等、自然環境を活用できるプレーパークの設置に適した場所があるか。新しく整備される昭和園で、そのような取り組みを行う可能性はあるか。 （５）プレーパーク設立が地域活性化につながる可能性 プレーパークの設立が地域の魅力を高め、移住希望者にとっての選択肢として強調されることがあり、移住者の増加に寄与するケースがある。大津町として、地域活性化や移住促進としてのプレーパークを設置するのはどうか。	町 長

一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 中山 直之 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2 大津町こども計画への子どもの参加について	大津町子ども計画素案の第4章施策の方向性の中に子どもの意見表明参加の促進とあります。これは子ども権利条約の4つの権利のうち子ども参加の権利です。子ども計画素案の作成においてもこの権利が守られるべきだと思いますが、子どもの母数が少ないため十分に子どもの声が聞かれ、子どもが参加したまたは、意見が聞かれたとは言えないのではないかと。次の内容を伺います。 （1）今後こども計画を進めていくにあたって、幅広く子どもの意見を聴く、子どもが参加できる取組みの計画はあるか （2）それらの取組みにおいて、子どもの参加と意見表明権を保証することを目的とする子どもアドボケイトを活用したらどうか	町 長